

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 15日

宮崎市長 殿



提出者 〒889-1693
住 所 宮崎県宮崎市清武町木原1112番地
氏 名 SUMCO TECHXIV株式会社 宮崎工場
工場長 山本 博昭
電話番号 0985-84-4616

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	SUMCO TECHXIV株式会社 宮崎工場
事業場の所在地	宮崎県宮崎市清武町木原1112番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	その他の金属表面処理業
②事業の規模	生産金額 11,541,932 千円/年間
③従業員数	582名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	添付資料1「廃棄物処理フロー」のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	
廃棄物管理統括者	廃棄物管理責任者 (設備管理課長) <ul style="list-style-type: none"> - 廃棄物処理責任者 (設備管理課スタッフ) - 特別管理産業廃棄物管理責任者 (法的有資格者) - 廃棄物処理施設技術管理者 (法的有資格者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	廃酸
	排 出 量	1 4 8 8 . 3 t	0 . 2 t
	(これまでに実施した取組) 1. 汚泥含水率管理強化による汚泥発生量の削減 2. 製造での薬品使用量を減らし、排水処理負荷の軽減により 汚泥発生量を削減する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	廃酸
	排 出 量	1 1 0 1 . 3 t	0 . 1 t
	(今後実施する予定の取組) ※生産量が対前年比74%に伴い、汚泥発生量が減少する。 1. 汚泥含水率管理強化による汚泥発生量の削減 2. 製造での薬品使用量を減らし、排水処理負荷の軽減により 汚泥発生量を削減する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 汚泥、2. 廃酸、3. 廃アルカリ、4. 廃油、 5. 廃プラ類、6. 木くず、7. ガラス・陶器くず、8. 金属くず、 9. 紙くず
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※特にありません

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

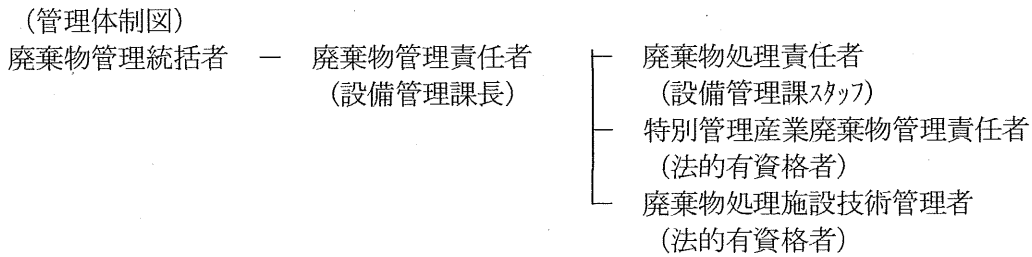
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	廃酸
	全 処 理 委 託 量	1 4 8 8 . 3 t	0 . 2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 1 4 2 . 2 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	3 4 6 . 1 t	0 . 2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 1. ゼロエミッションの維持			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
	全処理委託量	1101.3 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	845.2 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	256.1 t	0.1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 1. ゼロエミッションの維持		
※事務処理欄			

(別紙第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
	排出量	0.04 t	393.3 t
	(これまでに実施した取組) 1. 廃油 (リヤ-ソースリ-再生廃液) のリサイクル率向上による廃液量の低減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
	排出量	0.03 t	291.0 t
	(今後実施する予定の取組) ※生産量が対前年比74%に伴い、廃アルカリ、廃油の発生量が減少する 1. 廃油 (リヤ-ソースリ-再生廃液) のリサイクル率向上による廃液量の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 汚泥、2. 廃酸、3. 廃アルカリ、4. 廃油、 5. 廃プラ類、6. 木くず、7. ガラス・陶器くず、8. 金属くず、 9. 紙くず
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※特にありません

(別紙第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(別紙第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
	全処理委託量	0.04 t	393.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	326.3 t
	再生利用業者への処理委託量	0.04 t	67.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 1. ゼロエミッションの維持			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油
	全処理委託量	0.03 t	291.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	241.5 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.03 t	49.6 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 1. ゼロエミッションの維持		
※事務処理欄			

(別紙第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	廃棄物管理統括者	—	廃棄物管理責任者 (設備管理課長)	—	廃棄物処理責任者 (設備管理課スタッフ)
				—	特別管理産業廃棄物管理責任者 (法的有資格者)
				—	廃棄物処理施設技術管理者 (法的有資格者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	排出量	97.8 t	15.6 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	排出量	72.4 t	11.5 t
	(今後実施する予定の取組) ※生産量が対前年比74%に伴い、廃プラ、木くずの発生量が減少する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 汚泥、2. 廃酸、3. 廃アルカリ、4. 廃油、 5. 廃プラ類、6. 木くず、7. ガラス・陶器くず、8. 金属くず、 9. 紙くず
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※特にありません

(別紙第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(別紙第4面)

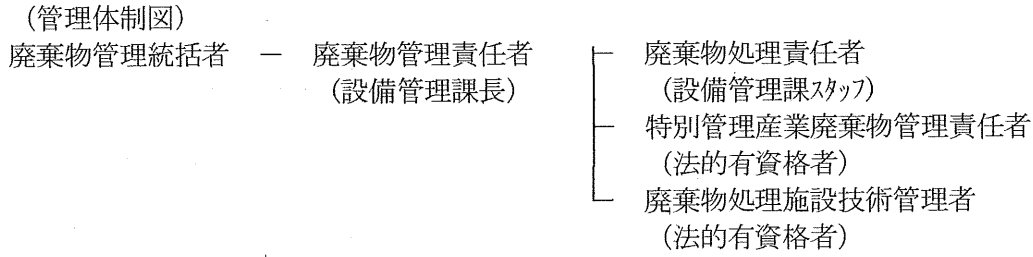
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	全処理委託量	97.8 t	15.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	63.4 t	15.6 t
	再生利用業者への処理委託量	34.4 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 1. ゼロエミッションの維持		

(別紙第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	全処理委託量	72.4 t	11.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	46.9 t	11.5 t
	再生利用業者への 処理委託量	25.5 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 1. ゼロエミッションの維持		
※事務処理欄			

(別紙第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器くず	金属くず
	排 出 量	1.6 t	7.4 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器くず	金属くず
	排 出 量	1.2 t	5.5 t
	(今後実施する予定の取組) ※生産量が対前年比74%に伴い、ガラス・陶器くず、金属くずの発生量が減少する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 汚泥、2. 廃酸、3. 廃アルカリ、4. 廃油、 5. 廃プラ類、6. 木くず、7. ガラス・陶器くず、8. 金属くず、 9. 紙くず
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※特にありません

(別紙第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(別紙第4面)

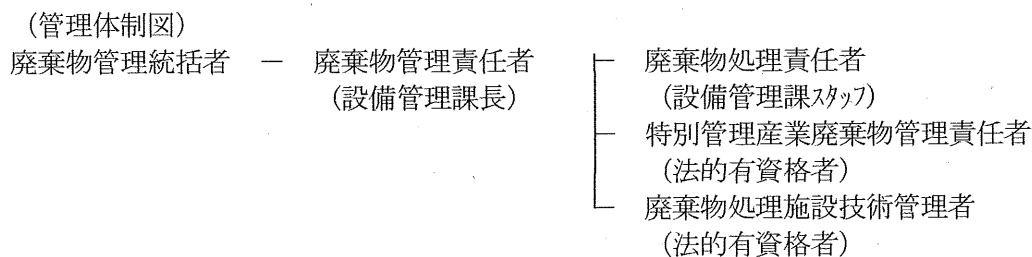
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器くず	金属くず
	全処理委託量	1.6 t	7.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1.6 t	7.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 1. ゼロエミッションの維持		

(別紙第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器くず	金属くず
	全処理委託量	1.2 t	5.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.2 t	5.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 1. ゼロエミッションの維持		
※事務処理欄			

(別紙第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

② 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排 出 量	5.6 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排 出 量	4.1 t	t
	(今後実施する予定の取組) ※生産量が対前年比74%に伴い、紙くずの発生量が減少する		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 汚泥、2. 廃酸、3. 廃アルカリ、4. 廃油、 5. 廃プラ類、6. 木くず、7. ガラス・陶器くず、8. 金属くず、 9. 紙くず
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※特にありません

(別紙第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(別紙第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	全処理委託量	5.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	5.6 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 1. ゼロエミッションの維持		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	全処理委託量	4.1 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	4.1 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 1. ゼロエミッションの維持		
※事務処理欄			

2022年度 産業廃棄物排出量実績

◆ 2022年4月～2023年3月実績

